

(仮称)上越市体操アリーナは市民の理解を得られると思っ ているのか 木田第2庁舎火災後の対応でも質疑(私の総括質疑続報)

前号に続いて、私が5日の市議会本会議で行った総括質疑についてお知らせします。今号は(仮称)上越市体操アリーナ建設問題、第2庁舎火災後の対策です。

【橋爪】当初行政側が説明した施設は、既存アリーナの不十分な点の拡充であったと思うが、今回の提案は規模も建設場所も大きく変わっている。なぜこういうことになったのか。

【野澤教育長】当初計画した施設は、建設地を市有地である旧大湯町プール跡地とし、新体操とトラップの練習場を整備することとしていた。その後、教育委員会において、現在の体操競技の状況を踏まえ、総合的な体操施設が必要との考えに至り、改めて、



登壇し、質疑を行っているのは私。

施設のコンセプトや規模・機能の見直しに着手した。昨年2月、旧大湯町プール跡地という場所ありきの計画ではなく、機能を重視した計画に見直すこととし、教育委員会での機関決定を経て、昨年の市議会3月定例会において、その方向性を説明した。

【橋爪】当市では、数十億円単位の大規模施設の建設ラッシュになってきている。こうした中で、20数億という規模の施設の建設は市民の理解を得られると思うか。

【教育長】(仮称)上越市体操アリーナは、総合的な体操の発展はもとより、大会や合宿等の誘致拡大による県内外の人的交流の促進によるまちの活性化などで効果が期待できる施設として、まさに将来を見据えた価値ある投資であると考えている。引き続き、議会において丁寧の説明するとともに、広報紙やホームページ等を通じて、市民にも周知していく。

【橋爪】建設経費とランニングコストについてききたい。財源の大部分に合併特例債を活用するとしているが、市の負担はどのくらいと試算しているのか。また、建設後の維持費は、どのように見込んでいるのか。

【教育長】現段階で想定している概算の総事業費は23億円から26億

円で、財源には合併特例債を活用する計画だ。市が最終的に負担する金額は9億円から11億円程度になるものと試算している。維持管理費は実施設計、管理運営方法が具体的になったら示す。

【橋爪】市教委の方針転換は昨年の2月だ。この時点で財政的にどう変わるか示すべきだった。6月の記者会見で市長は、「26億円を越えたらどうするか」との質問に答え、「やめるといふ選択肢もある」とのべた。4.5億円から20数億になった時点でそれを考えるべきだったのではないか。

【村山市長】(同じ位置の、同じ規模の建物について)一定の条件のもとで記者に答えたもので、越えればありうるという意味だ。

【橋爪】8月6日の第2庁舎の火災を受けての対策として、防犯カメラの設置のみにとどまった理由は何か。スプリンクラーの設置がなかったのはなぜか。今後の対策、どのように考えているか。

【市長】木田庁舎を始めとする17の庁舎等においては、消防法や建築基準法などに基づき必要とされる消防設備を既に設置し、また、定期点検により良好に稼働することを確認している。スプリンクラーの設置などハード対策を改め



【カラハナソウ】アサ科の多年草。漢字で「唐花草」と書きます。つる性で雌雄異株で、この花は雄花です。いま、咲いています。雌株の雌花は果穂になると、松かさのような形になります。写真は、大島区大平にて撮影。



先週紹介したゴマ、1升の実がとれたそうです。

て見直す必要はないと思う。しかし、この度の火災によって、貴重な公文書が焼損又は水損の被害を受けたことを踏まえ、こうしたリスクの軽減に向け、重要な書類を確実に鍵付きのロッカーで保管するなど、行政としての基本的な取組を改めて徹底してまいりたい。

一方、放火も疑われるこの度の事案に対応するため、既に守衛又は警備業者の配置や、機械警備システムの設置などの対策を講じているが、防犯上の抑止効果を高めることも必要と考え、防犯カメラを新設、増設をすることとした。

はしづめ法一の活動レポート

No.1824 2017.9.17
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四七二回

リポビタンD

「いったいどうしたのかと思いました。義母の顔がいやにやつれて見えたからです。」

先週の土曜日、約三か月ぶりに柏崎の義母の家を訪ねました。玄関の網戸を開け、「ごめん下さい」と声をかけると、義母はすぐに私だとわかったようです。

「久しぶりだねえ」。私の顔を見て、義母はそう言いました。しばらくして、「いつもお盆の二三日には来るのに来なかったからさ、どうしたのかと思っていて」と続けました。

逆光だったこともあったのでしよう、久しぶりに見る義母の顔は何となく暗かったので、「どうしたの、元気がないねかね」と、声をかけました。義母は私の顔を見上げて、言いました。「一緒にデイサービスに行っていた人、ほんの二、三時間で死んでしまったさ、元気なんか出ないわ」と。

亡くなった方は義母と同じ集落の女性で、八九歳でした。腸ねん転だったらしいのですが、急に具合が悪くなり、あれよあれよという間に亡くなられたとのことでした。義母よりは四つ年下でしたが、一度大きな病気をされ、その後はデイサービスに通うようになって、リハビリの結果、車いすで動けるまでに回復したとか。その人が亡くなったのです。

義母はここ数年、この女性の前向きな姿勢を手本にして生きてきたといいます。「目標の人がいなくなっちゃった」とも義母は言いました。家族以外であっても、こうした身近な存在は大きいんですね。

この日、私は、柏崎のスーパーでアイスクリームとドライフルーツ（乾いた果物）のパンを買って、義母のところへ持参しました。義母の部屋の真ん中にあるテーブルの上にこれらを出すと、義母は義母で黒いようかんを出してくれました。

アイスを食べはじめたところで義母は、いつものように、「そこんちのおぼあちゃん、元気かね」と母の様子を訊いてきました。母と学年は違うものの、歳は一緒なので、いつも気になるみたいです。

私からは、母が畑仕事をまったくしなくなったことやデイサービスに週二回行っていることなどを伝えました。

義母も五年ほど前からデイサービスに通っています。義母は週一回です。五年間、同じペースで通っているのですが、やはり歳が増えるに従い、体の衰えを感じているようです。

話題になったことの一つは紙おむつのことでした。義母は「ずぼんを全部汚してしまい、ひどい目にあった」「トイレに行くまでに出てしまうこともあるんだよ」などと失敗談を語りました。

義母はこれまで、どんなことがあっても自分でできることは自分でやると心がけてきました。トイレや風呂の掃除、洗濯などほとんどを自分でしてきました。でも、最近はどうも体が動かないと言います。

びっくりしたのは風呂に入るときの話です。なかなか入る気になれないから、リポビタンDをぐいっと飲んで、威勢をつけてお風呂に入っているというのです。

もうひとつ、目の前に出してもらった黒いようかんを見て、「おやつ」と思いました。黒いようかんは、包んである紙ごと二枚くらいの間隔で切っていたのですが、下の方はみんなつながっていたからです。義母のキチンとした性格からは考えられないことでした。

私が訪ねた三日後、妻が心配して義母のところへ行ってきました。妻は、「あんたが行ってくれて、母も少し元気が出たみたい」と言いました。よかった、よかった。

市議会文教経済委でも山鳥毛、体操アリーナめぐり激論

上越市が購入しようとしている上杉謙信の愛刀でもあった国宝の「太刀無銘一文字（号 山鳥毛）」をめぐり、市長は8月28日の記者会見で、所有者と契約金額で折り合いがつか

ない状態となっていることを明らかにしています。

11日の市議会文教経済常任委員会では、委員から、「鑑定のごことでどうだったのかと感じている。何故こうなっているのか」「（市教委の説明を）すっきり飲みこめない。本当にお金の折り合いなのか。それが本音なのか合点がいかない」「（購入をめぐって）世論は二分した。なぜこうなったのか不思議でならない」「鑑定額の3億2000万円を超える数字を相手が出してきたとき、どうするのか」「募金などがすでに行われているが、ダメになったら市民にどう説明していくのか」などの声が相次ぎました。

これに対して市教委側は「想定外の事態となっているが、与えられた予算ななかで誠心誠意努力していきたい」「世論が二分したという感触はもっていない。これまでしっかりと手順を踏んできた。も

しダメになったら、その理由を堂々とすべて明らかにする」と答えました。市教委側の答弁には交渉がかなり厳しくなっている様子がにじみ出ていましたね。

（仮称）上越市体操アリーナ問題でも質問が相次ぎました。各委員からは、「大潟にもうひとつ体操アリーナ造る必要があるか疑問だ。もっと多くの市民の声を聞くべきだ」「予算などに反対しない。が、不満に思うことがある。議員に対してもう少し丁寧な説明をしてほしかった」「市民が感じているところが多々ある。もう少し市民理解を得る努力をすべきだ。市民が理解する時間が必要だ」などの声が相次ぎました。市長はこうした声に応えるべきです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことでした。

	9月6日(水)	9月13日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.057	0.037
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.053	0.053
高士分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.057	0.050



シロバナサクラタデ